

広報

いまり

市の人口	
6月1日現在	
総人口	58,874人
男	27,563人
女	31,311人
世帯数	14,818世帯

昭和29年8月19日
第3種郵便物認可

毎月1日発行 定価1部5円 昭和47年7月1日 伊万里市役所秘書企画課発行 No. 221



— 本番さながら、有田川下流で災害避難訓練 —

集中豪雨による万一の災害発生に備え、6月27日、二里町の有田川下流一帯で、市・県・警察・消防など防災関係者による災害避難訓練を行いました。

訓練は、有田のはんらんを想定したもので、住民の避難訓練や消防署のレンジャー隊（特別救助隊）が河床に孤立した人たちを救助する訓練など、本番さながらに行なわれました。（上の写真は、レンジャー隊の訓練のもようです。）

広報こよみ

- 7日 七夕
- 11日 25日 交通事故相談
- 15日 お盆
- 20日 無料法律相談日
- 22日 23日 港まつり

51年国体を葉がくれの里で

47' 7月

6月定例市議会終わる

本市に電子計算センターを建設

国見台に50メートルプールも

第2回定例市議会は、6月9日招集、市税・国民健康保険税条例の一部改正や、牧島小学校危険校舎改築工事の請負契約、過疎地域振興計画の変更、一般会計補正予算など15件を審議・可決して21日閉会しましたそのあらまは次のとおりです。

一般会計に 8,400万円を追加

◎昭和47年度一般会計に 8,416万円を追加、予算総額は45億 616万円になりました。

こんどの補正は、地方交付税や国県支出金などが未確定のため、国県の補助事業の内示や承認が見込まれるものを中心に急を要するものを最少限度に補正しています。

▶**総務費**に 1,077万円を追加しました。これは、ことし4月に設立した伊万里・北松地域広域市町村圏組合が、根幹事業として本市に設置する電子計算センターと、松浦市に設置する広域行政センターの建設費や運営費に対する負担金 882万円と、国見山にトンネルを開通させて、地域経済の発展・観光・文化の交流を図ろうと佐賀・長崎両県の3市9町で組織している国見山開発促進協議会に対する負担金5万円と、松浦町市有林管理区交付金140万円などです
なお、電子計算センターは、鉄筋

コンクリート平屋建て 360平方メートルで、3,713万円をかけて建設します。ここには広域圏内12市町村の住民データを集中処理することにしており、来年度に機械導入、テストのあと、49年4月から本格的に稼働させる計画です。

かけかえられる 大里川のやぶさめ橋

▶**土木費** 4,209万円の追加は、はじめ 650万円で実施することになっていた市道伊万里～黒川線の舗装工事が 1,000万円の認承内示をうけたために、350万円を追加したことと、二里町大里川下流のやぶさめ橋が、本年度新たに補助事業として認められたために、総事業費 2,340万円をかけ、幅8.25メートル・延べ40メートルを建設することにしたものです。

なお、このやぶさめ橋は、幅がせまいうえに橋脚が低いため、満潮のときなどは橋が沈み通行に不便でした。

このほかに、本年度、国見台運動公園に建設することになっていた公園

プールが 1,600万円の補助認承内示をうけたために、当初計画に差額を追加して、長さ50メートル・8コースを建設することになりました。

本年度は38戸建設

住宅費にも 610万円を追加しています。これは、はじめ34戸（第1種住宅20戸・第2種住宅14戸）を建設する予定のところ、さらに4戸分の追加認承があったため、本年度中に38戸を建設することにしたものです

▶**教育費**には、小学校費 507万円と中学校費 734万円、教育総務費 7万円、あわせて 1,268万円を追加しています。

南波多・東黒川両小学校に建設中のプールの水源変更による、給排水施設や地質調査の結果、地盤が軟弱なために基礎工事に要した経費や補助採択基準の改定に伴い、付帯施設などの増加による追加 507万円と危険校舎改築事業で実施する南波多中学校舎改築事業において、補助基準面積や補助単価の引き上げが行われたために改築面積を 810平方メートルから 981平方メートルに変更したための経費 728万円などです。

分以上は防げるのではないかと
かと思う。
いま一つは、快適なドライブのための提言で「車をリズムにのせる」努力をたえずして貰いたいものである。
わたしは、自分で運転する時は、同乗している人からの前の後への動き具合に気をつけながらクラッチの切り換え方を研究する。隣の人がいつ切り換えたか気づかないようなクラッチの切り換えがベストである。
また、道路のデコボコにたいして、タイミングの全然あっていない車が多い。タイミングが悪いと、ショックは倍になる。
自動車は、その名のよう
に動くものであるから、リズムが大事で、いかにリズムに乗せるかの研究には際限（かぎり）がない。
人生もたえず動いている
だから、リズムが狂わない
ように努力しなければなら
ない。
どうかみなさんも、自動
車運転のコツで、安全運転
をしていただくとともにリ
ズムに乗った、快適な人生
を送ってもらいたい。

犬取締条例6月から適用

▶衛生費は、犬取締条例が6月から施行されたことに伴い、犬の運搬車の購入費42万円のほか、野犬の薬殺などに必要な経費として90万円を追加しています。

▶農林水産業費に1,444万円を追加しています。

米の生産調整に伴う転作推進費として県が生産組合や農協などに対して交付する生産調整推進費補助金など244万円と、農業構造改善事業で実施している南波多町の古里・高瀬大曲地区のほ場整備事業で、排水路や病虫害防除施設などが追加認承されたための工事請負費の追加1,000万円のほか、県が42年度から45年度にかけて造成した波多津町馬蛤潟干拓を含む、付近一帯の農地約72ヘクタールが毎年かん水して、農産物に被害が出ているため、これを防ぐための調査設計委託料186万円などです。

牧島小学校を改築

◎古くなった牧島小学校を改築することになり、その工事請負について可決しました。

総工費6,630万円をかけて来年2月までに完成させる予定です。

建築規模は、鉄筋コンクリート2階建てで、普通教室11室・管理室5室などです。

▶災害復旧事業費に330万円を計上

しました。

東山代町の市道正手～後川線が鉾害復旧事業として認められたために道路側溝延べ310メートルとかさ上げ工事を行なうものです。

なお、この補正財源には地方交付税2,000万円、国県支出金4,203万円、市債1,390万円などを当てています。

過疎地域振興計画を変更

◎昨年9月に策定した市過疎地域振興計画を変更しました。

これは、伊万里・北松地域広域市町村圏の事業計画などとの調整が必要になったために計画を変更したものです。

変更した計画は、昭和45年度から49年度までの5か年計画で、総額2億8,400万円をかけて道路・消防施設・地区公民館などの整備を図ることにしています。

◎地方税法の一部改正に伴い、市税条例と国民健康保険税条例の一部

を改正しました。

改正したおもな点は、市民税の負担を軽くするため、障害者、老年人などの非課税限度額を35万円から38万円に引き上げたことと、軽自動車税などの買い主が住所不明の場合売り主に課していた軽自動車税を免除することになったため、その手続きの規定などを設けたものです。

国民健康保険税は、低所得者の税負担を軽減するために、基礎控除額を引き上げるもので、電気ガス税に関する規定を除き、いずれも本年分から適用します。

◎県の同和地区中小企業振興資金貸付事業にかかる市町村振興資金貸付規則の改正に伴い、これまでの組合に対する貸付限度額1,000万円を2,000万円に引き上げました。

このほか、継続事業で実施している市庁舎建設事業や、大川簡易水道新設事業・上水道の第5次拡張事業工業用水道布設事業・中井樋線配水管改良工事の継続繰越計算書をそれぞれ承認しました。

市内めぐり会員募集

本年度2回目の市内施設めぐりを次により実施します。参加希望者は会費400円(弁当代を含む)を添え市役所秘書企画課か各町公民館へハヤメにお申し込みください。満員になりしだい締め切ります。
▷とき 7月31日8時40分西肥バス

センター出発(16時30分散)

▷視察予定地 大川内山窯元・立花台地・国見台・長浜団地・竹の古場公園・ごみ焼却場・久原工業団地・セツ島工業団地予定地など。

このほか、車内では市政概況を説明します。

発展する郷土を確かめよう

自動車運転免許をいた
だいて十八年になるが、さ
さやかなわたしの経験から
二つのことを提言してみたい
と思う。

一つは、安全運転のため
の提言で「注意すべきところ
は必ず注意する」という
ことである。

そんなことはあたりまえ
じゃないかと言う人がある
かも知れない。しかし、実
は、あたりまえのことほど
努力を要するものである。

人間は、環境の動物とも
言われ、周囲の動物とも
言われ、周囲の変化ですぐ
に心が動く。そして、注意
力が自分からそれて、マイ
ペースが失われた時に事故
が起こる。

例えば「追い越し」一つ
をとって見ても、人から追
い越しをかけられたために
マイペースを失っている人
が随分多い。もしも、「追
い越し」だけでも「注意す
べきところは必ず注意する」
とすれば、大きな事故の半



七ツ島工業団地 始まった用地造成工事 最新の機械を駆使して突貫作業

名村造船所の進出決定に伴い、県が計画した七ツ島工業団地造成計画は、6月14日の臨時県議会で、その請負工事関係議案が承認・可決されいよいよ本格的に工事が進められることになりました。

そのため県・市は、地元との打合会を開いて工事期間中などの協力をお願いするとともに、さっそく計画地内の山林伐採を始めました。

造成される七ツ島工業団地は、総面積148万2,300平方メートルという広大なものです。今月から49年3月にかけて、およそ60億円の巨費を投入して造成しますが、このうち名村造船所用地が約34万7,500平方メートル、残り113万4,800平方メートルは、関連企業用地や道路などの公共用地に当てる計画です。

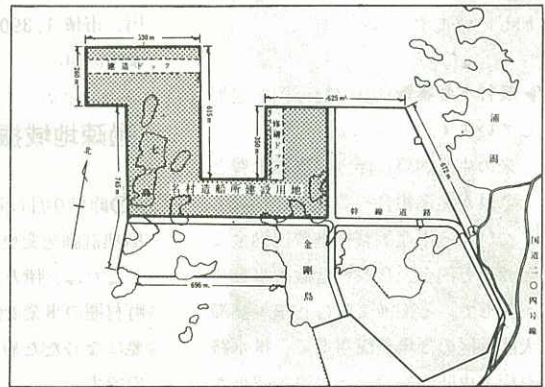
また、名村造船所も49年1月の第1船起工をメドに、併行して工場を建設することにしており、造成工事もその計画にしたがって進めることにしています。

しかし、第1船起工までは、わずか1年6か月の短い期間です。したがって作業は、大型の近代機械を駆使して行なわれることになっており今月から来年10月ごろまでは30トンブルドーザー6台、42トン2台それに土をすくってトラックに積み込むホイールローダーが、30トンから55トン級7台、ダンプトラックは11トンから35トンまであわせて29台をフル運転し、突貫作業を行ないます。またこの造成工事に動員される作業員は1,500人以上にのぼるものとみられています。

造成期間中は、機械類のほか、ハッパを各所に使用するため、危険防

止のうえから造成区域全域を立ち入り禁止することにしていただいております。

ただし、小中学校などの団体見学は土木事務所の特別許可を得て見学できることにしています。



動きだした転業対策

出張所などに転業相談所

伊万里湾開発に伴う転業対策打合会が、5月29日、竹内市長や植県経済部長、伊万里湾漁協、波多津漁協の代表、地主代表など関係者約40人が出席して、九州相互銀行伊万里支店の会議室で開かれました。

名村造船所の誘致で、漁場を失ったり、工場用地に田畑を提供したため、転業しなければならなくなった農漁業者などの就職をあっせんするために開かれたものです。

協議に先立って、竹内市長は「農漁業者をはじめ市民の皆さんの深いご理解とご協力によって名村造船所の誘致を決定することができた。工場建設のために転業を迫られているかたの転業対策は、漁業補償交渉以上に努力がいるが、転業者の期待にそうよう努力したい」と述べました。

また、植県経済部長は「市と十分連絡を取り合って転業対策に全力を尽くしたい」とあいさつしました。

協議会は、伊万里湾の開発に伴う用地造成で離職をよぎなくされたか

たの職業転換対策を強力に推進するため、県・市の関係課長・伊万里湾や波多津漁協の両漁協長・地元区長で組織する「伊万里湾開発に伴う転業対策委員会」を設置することを決め、会長に竹内市長、副会長に植県経済部長を選ぶとともに、委員会の規約や幹事会などを組織しました。

工事期間中は、ブルドーザー・ダンプトラックなど各種機械類の騒音やハッパなどの音響で、工事現場近のかたたちはもちろん、市民の皆さんに大変ご迷惑をかけると思いますが、なにとぞご協力くださるようお願い申し上げます。

たの職業転換対策を強力に推進するため、県・市の関係課長・伊万里湾や波多津漁協の両漁協長・地元区長で組織する「伊万里湾開発に伴う転業対策委員会」を設置することを決め、会長に竹内市長、副会長に植県経済部長を選ぶとともに、委員会の規約や幹事会などを組織しました。

転業対策は、伊万里湾・波多津両漁協の組合員・用地提供者のほかこれまで漁業者などを対象に営業している商工業者などもあわせ382人に対してこんごの就職あっせん、自営業への転換指導や資金のあっせんなどを行なうことにしています。

なお、4月に実施した意向調査では、名村造船所に就職を希望する人が多いことから、同造船所側と具体的な協議を進めるとともに、市役所や黒川出張所・波多津出張所・伊万里湾漁協・波多津漁協にそれぞれ転業相談所を開設して、できる限り希望にそうように努力することになっています。

港まつり・22日～23日

海陸ともに多彩な行事

ミスみなと、も募集中

伊万里港の躍進を記念して開かれる「第2回港まつり」は、今月22日と23日の2日間、陸と海で多彩な行事が計画されています。

伊万里港は、昭和42年6月開港指定以来、合板企業などの安定した躍進によって着実な歩みを続け、いまや国際貿易港として確固たる位置を築きました。しかも、大型船舶の接岸ふ頭工事は、今日もなお槌音高く進められ、さらに、対岸の黒川地先には名村造船所という大型企業の進出決定と、伊万里港は、これから飛躍的發展が約束されています。

港まつりは、このように躍進しつつある伊万里港や市の発展を記念して行なわれますが、日程は次のとおりです。この行事をいっそう盛大にするために、全市民の参加とご協力を期待しています。

ミスみなと、を募集

申し込みは8日まで

港まつり行事の一つとしてミスみなとを募集します。募集要領は次のとおりです。自せん・他せん歓迎します。ふるってご応募ください。

▷資格 市内に居住又は勤務している18歳以上の未婚女性

▷申込先など 市商工観光課へ写真1枚と申込書を提出すること。

申込書は、商工観光課、観光協会伊万里青年会議所にあります。写真にはうらに名まえを書いてください

▷しめきり 7月8日12時まで

▷審査 7月16日 ミスみなと1名準ミスみなと2名、洋服着用のこと

▷表彰 賞品・賞状・トロフィーのほか、副賞を贈ります。

▷その他 入賞者は港まつりや市の行事に参加していただきます。

港まつり行事日程

(7月22日)

時間	行 事	会 場
9.00	海上保安部巡視船による観閲式と体験航海	久原ふ頭 伊万里港
16.00	おみこし渡しと船団パレード	伊万里港
18.00	（雨天中止）	
19.00	水上スキーショー	伊万里川
20.00	（雨天中止）	河口
20.00	納涼花火大会	〃
21.00	（雨天順延）	〃

(7月23日)

11.00	記念式典	市民会館
12.30		
10.00	小中学校水泳大会	伊万里小 プール
14.00		
10.00	市民・七市職員剣道大会	スポーツ センター (国見台)
15.00		
12.00	市民ボウリング大会	スターボ ウル
17.00		
13.00	商店街道ゆき、陸上自衛隊・米軍鼓笛隊、事業所協賛仮装パレード	商工会議 所→市民 会館
14.00		
14.00	ミスみなと表彰	市民会館
14.30		
14.30	米軍佐世保基地鼓笛隊・陸上自衛隊久留米音楽隊演奏会	〃
16.00		
16.00	職域対抗素人のど自慢大会	〃
18.00		
18.00	市民芸能大会	〃
19.00		

こわい毒へびにご用心

かまれたら一刻も早く血清注射を

恐ろしいマムシ（毒へび）の横行するシーズンになりました。

マムシは、ジメジメした草むらや田んぼなどに好んで生息しますがそばを通ったり踏みつけたりするとかみつきます。かまれると、へびの持つ猛毒のため、手遅れになると命を落とすことさえあります。

かまれたときは、一刻も早く医師の手当てと蛇毒抗毒素（血清）の注射を受けてください。

その前に、次のような応急手当を
○体内に毒が回らないように、心臓に近い方を、ひもでかたくしばります。

○消毒したカミソリなどで、傷口を×印に切りさき、口から毒を吸い出してはき出します。しかし、口はあとでよくうがいをして。

なお、付近に車がないときなど119番に電話して救急車を呼びましょう。

—マムシの血清保管中の病医院—

〈伊万里〉 前田病院・光武医院
加茂医院（柳井町）

〈黒川〉 小島医院

〈波多津〉 小島医院

〈南波多〉 小島医院・助広医院

〈大川〉 山口医院

〈松浦〉 近藤医院・日浦医院
福岡医院

〈二里〉 山元外科病院・市民病院
毛利病院・太田整形外科病院

共立病院（西有田）・峯医院（有田）

〈東山代〉 立石医院

〈山代〉 西田病院・樋口医院

浦の崎社会保険病院・水上医院

無気味さ増す2つの山

烏帽子山と乙女地区に地すべり現象

南波多町古川の烏帽子山と山代町西分乙女地区に、新たな地すべりの徴候がはじめ心配されています。

古川の烏帽子山(標高150メートル)は、3月20日ごろ、山頂付近に長さ150メートルにわたり、幅1.3メートル・深さ1メートルから2メートルの地割れが馬蹄形に広がっていることが発見されました。

その後、県・警察・市・消防など防災関係者の現地調査が続けられているほか、現地には、測定器を設置して厳重な警戒体制をとっています。しかし、降り続く雨で、この地割れが少しずつ大きくなり、近くを通る舗装農道にもき裂が起きています。

この一帯には、山林のほか、6年から15年生のりっぱなし園や、最近造成したぶどう園など約7ヘクタールの農地のほか、山すそには9戸の民家があり危険にさらされています。

そのため、6月12日には佐賀大学の大島恒彦教授を招き、およそ4時間にわたって現地を詳しく調査してもらいました。

その結果「地質は、第3紀層の砂岩・けつ岩などが重なり合ったもので、かなり風化が進んでいる。風化した部分は10メートルから15メートルの厚さと思う。また、山頂のかん没は地すべりがはじまっている証拠すべるとすれば、民家のある西か南の方向にすべりそうだ。いつすべるかとははっきりしないが十分な警戒が必要だ」と警告しました。

そのため、6月15日には同部落の井上正人さんの家に警報器をそなえ常時警戒を続けるとともに、地すべり危険地域の指定申請や杭打ちなどによる防災対策をとることにしてい

ます。

いっぽう、山代町西分の乙女地区の地すべりも、厳重な警戒が続けら



れています。この一帯は、昭和26年2月と32年7月の2回にわたり大きな地すべりをおこし、49戸の民家が埋没したほか、10人の尊い犠牲者がでているところでした。

そのため、ここには武雄営林署の松浦治山事業所が設けられ、昭和40年からすでに4億6,000万円の巨費を投じて大きな水抜きトンネルや水路など大規模な防止工事が続けられています。

しかし、最近になってトンネルが圧縮したり、水路が折れるなど地すべりの徴候が出はじめ、下方の7戸の民家と農地が危険にさらされています。

市内には、このほか70か所以上に及ぶ地すべり危険地区、248か所の急傾斜地、36もの老朽ため池があるほか、宅地造成や農地造成などによ

って危険にさらされているところは数知れません。付近にこうした危険な所があるかたや、川のそばなどにお住まいの方は警戒をおこらないようにしてください。

扇風機の上手な使い方

たばこの煙や台所において室内の空気がよごれていると健康的にもよくありません。

扇風機を窓ぎわに置き、外に向けて回転させると、よごれた空気を出し、逆に内側に向けて新しい空気を室内に送ってくれる換気扇となります。

また、家庭で寿司をつくる時に炊きたてのご飯を冷やすのに扇風機を使うと酢のにおいで寄ってくるハエを追っばらうにも便利です。

そのほか、洗たく物を大急ぎで乾燥させたいときに扇風機を使えば手軽な乾燥機になります。蒸し暑くて眠れない夜は、扇風機を回したままやすみがちです。そのためひえすぎでカゼをひいたり、腹をこわした

ります。こんなときは、扇風機を壁の方に向け、一度壁にあて、やわらかい風を利用します。

塩の効用

- バターやチーズは、四角に切ってガーゼに包み、濃い塩水に入れてたくわえる。
- 酢に塩を少し入れるとにごらない。
- 夏は、たまごを塩の中にたくわえると腐りにくい。たまごのどがっている方を下にして塩の中につめ、互いに接触しないようにし、塩を入れた箱の底に小穴をあけて水分が抜けるようにすること。

元気で勉強してきます

大川町の田代泰彦さんが渡米

農業研修生派米協会が募集している「第7回派米農業研修生」の一員に選ばれ、渡米することになった大川町立川、田代正義さんの2男泰彦さん(25歳)は、6月20日、市役所に竹内市長を訪ね、出発のあいさつをしました。

田代さんは、7月に渡米、49年6月までの2年間、ワシントン州やオ

レゴン州・アイダホ州の農場で実習するほか、酪農、果樹、観賞園芸などの研修やワシントン州内の大学で英語を研修することになっています

佐賀県からは、田代さんのほかに佐賀・神埼・鹿島などから4人が選ばれたほか、全国から200人の若者が参加します。

なお、田代さんは、現在、父親の

正義さんといっしょに、なし園を経営しており、アメリカでは、果樹を中心に研修することになっています。



調停について

ここに、例えば交通事故が起こったとします。そして、被害者は加害者に対して治療費や、精神上の苦痛による慰謝料の請求をしたとします

しかし、自分たちだけではなかなか話し合いがつかず、お互いが困惑することがよくあるものです。

こんな場合、どうしたらよいでしょうか。端的に申して裁判所で解決するのがいちばん早道と思います。

では、その解決としてどのような制度があるのでしょうか、それには

- 自主的解決方式として調停・和解
- 強制的解決方式として裁判があります。

ここでは、調停という制度について、できるだけわかりやすくお伝えしてみたいと思います。

まずはじめに「調停」というのは何かと申しますと、それは、裁判所(調停委員会—裁判官と調停委員とで構成されたもの)が、なかにはいつて当事者双方の自主的解決に協力する制度であります。

具体的に申しますと、争いの当事者双方から、よく実状を聞いて調停案を打ち出し、それを双方に勧告するものです。調停は、双方がそれをもむことによって成立するのです。

したがって、裁判所としては、調停にのぞむにあたっては細心の注意

を払います。すなわち「その事件が後日、裁判にでもなったときは、どのような判決がなされるであろうか」ということを想定し、できるだけそれに近い線で解決をこころみるよう努力しています。

決して、双方の主張を加えて2で割るようなことをするものではありません。裁判所での解決である以上必ずその底には正義とか、公平とかの理念が流れていなければならないからです。

では、具体的に裁判所で解決を求めるにはどうしたらよいでしょうか。まず、裁判所に申立書を出さなければなりません。その申立書は、司法書士が書いてくれます。また、特定事件では、受付書記官が書いてくれる場合もあります。

申立書には、所定の印紙(例えば目的物の価格30万円のときは印紙額1,800円)を貼用しなければなりません。

この申立書が受理されると、だいたい10日以内に第1回の調停委員会が開かれます。その際は、裁判所から呼び出しがありますから、指定された日時に出席すればよいのです。

期日の手続きは、通常申立人を先に呼び入れ、申立の実情を聞きませ次に、申立人に退室してもらって相手方を呼び入れ、更に詳しく言い分を聞きます。それが何回か繰り返さ

れるうちに、争いの核心が略々はっきりするものです。そして、事実の確定に双方の歩み寄りができればあとは勧告となるわけです。このようにして、ほとんどの事件は解決しているのです。

調停で解決した場合は、裁判所で調書が作成されます。その調書は裁判所で判決をもらったと同様の効力があります。したがって、義務者が履行しないときは、それによって財産の差し押えができる強い力が与えられています。でも、通常はそれをつかわなくとも義務が履行されているようです。

その理由として考えられるのはお互いが自主的に解決したことでありそれに、責任をもつという強い意識が当事者にあるのではないのでしょうか。

調停とは以上のようなものです。費用や日時も多くはかからず、裁判所で裁判官や調停委員とテーブルを囲んで、じかに話し合いができるので、争いを解決するには最もよい方法だと思えます。

調停は、例えば、金銭の貸借・手形取引・借地借家・その他家事問題などについてもできることになっています。

心配ごとのある方は裁判所へご相談ください。

伊万里簡易裁判所

八幡さんに遊園地が完成

二里町の大里区民が労力奉仕で

二里町大里の八幡神社の境内にこのほど、りっぱな児童遊園地が完成

子どもたちは毎日元気にはしゃぎまわっています。

遊園地ができた八幡神社は、大里部落の奥地にあつて、静かな、環境のよいところです。また、境内が広く、子どもたちの格好の遊び場であ

るばかりでなく、各学校からの遠足も多いところです。



大里部落(前田新一区長・220世帯)は、部落の子どもたちや、遠足にやってくる子どもたちのために遊具や遊び場をつくってやろうと、さる5月29日、部落民総出で、境内を整地したり、ブランコや鉄棒・すべり台それに地球儀のように、ぐるぐるまわるグローブ・ジャングルなど遊具を備えつけたほか、野球もできるようにバックネットも設置しました

費用は、市から助成される10万円と、部落から10万円ほどを負担しています。

なお、この部落は、剣道を通して子どもたちの健全育成に力を入れており、ことし2月に開かれた市スポーツ少年団剣道大会の小学校の部では、高・低学年とも優勝を独占しています。

広域圏のまちを訪ねて

(10) 有 田 町

年々発展する陶器市

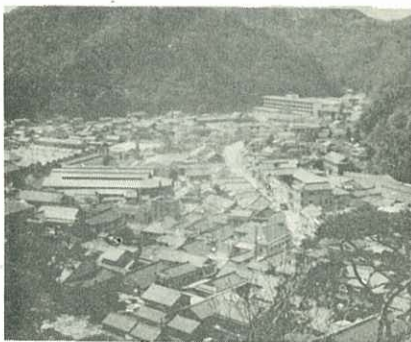
日本磁器の発祥地として古い歴史をもつ有田町は、慶長の役後、当時の佐賀藩主鍋島直茂が朝鮮から連れ帰った韓国人李参平一族によって有田泉山で陶石を発見、磁器を焼いてから350余年の伝統をもつ焼きものの町である。

町の基幹産業は、焼きものの町にふさわしく陶磁器製造工業であり年間約120億円の生産額をあげ、町の財政は、すべて陶磁器の盛衰にかかっている。

毎年、町の中央部を東西に走る国道35号線沿いで、5月1日から5日まで国民の祝祭日をはさんで行なわれる「有田陶器市」は、約40万人の観光客が、遠くは関西方面などから貸切バスで訪れ、5日間で約7億円の取り引きが行なわれている。

国道沿いには、古いのれんをもつ窯元や商家が軒をつらね、墨絵をお

もわせる四囲の山々の景観は、工芸の町にふさわしいふんい気をただよ



わせている。しかし、工場や住宅、商店が雑居していることから、産業公害はさげられず、宿命ともいえるこの現況を打破して住みよい環境をつくること

が、有田町に与えられた課題ともいえよう。したがって、住みよい豊かな町にするため、都市計画の用途地域指定

と相まって、工場や住宅団地などの開発が進められ、これらの団地を結ぶ道路網の整備をはじめとし、工業用水の確保・消防・防災施設の充実労働資源確保のため児童福祉・体育レクリエーション施設・環境衛生施設などを整備し、住民福祉の向上と生活の安定をはかるための積極的な諸施策が行なわれている。

陶祖李参平が発見した泉山磁石場は、町の東端にあり白磁ヶ丘公園の一角にある。また、日本一の陶製大鳥居、通称天狗谷窯跡として町の文化保護委員会が指定した李参平磁器窯跡は、昭和40年から発掘が行なわれ、貴重な陶片が次々と続出し、学界の注目をあびている。また、初代柿右工門が赤色を試みた柿の木も残っており、昔の面影をしのばせてくれる。焼きものの産地として世界にまで知られる有田町は、時代の波に乗って、電磁器や工業用磁器など多角的な経営の近代化も進んでおり広域圏の中で本市と同じ歴史と伝統をもつ町として、互いに協力し、「住みよい豊かな陶都有田」としてますます発展していくことであろう。

美しい川や海を

取りもどそう

郷土を愛する若者

さらさらと音をたてて流れる川の水……。

もうこんな清流は、ほとんど見ることはできなくなつた。

最近の産業の発展、生活水準の向上・商品の過剰包装などによって、ごみは異状なまでにはらんして

る。
そのごみは
一部の心ない
人たちによつ
て、川や海な
どに投げ捨て
られ、つもり

つもって、やがてはその人たちが善良な市民にまでも悪臭や病害虫の発生源となつてはね返ってきているばかりでなく、特に始末が悪いのは、ビニールやプラスチック製品など。これらの製品は腐しよくしないため下流の橋げたや井せきなどにたい積し、こう水を誘発する原因をつくり出している。



声のひろば
昔から水は人間の生活文明の母体といわれるように水を離れて人間の生活は成り立つものではない。

このように、川はわたしたちに多くの恩恵を与えてくれる。それを知るうえで決して不法投棄などできるものではないはずである。このままの状態が続くとすれば、川も海も、必ず近い将来には、人間ともに決定的な報復をしてくるにちがいない。自分の家を愛するように

また、ゆるせないことは「ごみ捨て禁止」の立て札の根元に、無神経にごみを捨てるやからがらがあることである。

こうなつては、もはやその道徳心や社会秩序をうんぬんすることさえおごまかしい。こういう状態では行政機関が、いくら声をからして協力を求めても、また多額の経費をかけて整備や清掃してもイタチごっこに

郷土の川や海、そして山を自分たちの手で守り、一日も早くきれいな川を取りもどしたい。
市民諸志よ、わたしは声を大にしてうたえたい。
どうか、こんご、川や海などにごみや汚水を捨てないで誓ってほしい。

捕獲犬、ただ今68匹

県・市合同で野犬狩り

伊万里保健所と市保健衛生課は横行する野犬一掃をねらって、6月6日から、伊万里地区をかわきりに市内全域にわたって、犬の捕獲作戦を展開し、同月20日までに、野犬や放し飼いの未登録犬など68匹を捕獲しました。

6月から犬取締条例が施行されたこともあって、さらに対策を強化し

たもので、不意打ち的に実施しているものです。

野犬狩りは、県の捕獲員を中心に保健所や市保健衛生課員約15人が手分けして、犬がおなかをすかしてえさをあさり回る夜明けをねらって行ないました。

こんごも、この野犬捕獲や薬殺を実施することになっていますが、このほか、市独自では、違反犬を見つけしだい、犬の首に「この犬は違反犬です」と書いた札をさげ、飼い主に対して注意をうながすとともに、協力を呼びかけています。

このように、まだまだ市内には野犬や放し飼い犬・未登録犬がたくさんいます。

犬は、毎年登録が必要なほか、春秋2回予防注射をうけなければなりません。また、犬取締条例によって必ずつないで飼うことになっています。市民皆さんの協力で、一日も早く野犬などのいない町にしたいものです。

＝記事訂正＝

6月号8頁上段の伊万里町民運動会の記事で、表彰をうけた体育功労者の内容にあやまりがありました。

おわびして、次のとおり訂正します

- 「立花町東円・山田茂さん」とあるのは「西円造寺」のあやまり。
- 「50歳未満 100メートル 3年連続優勝の大川内町大川内山の柴田満州男さん」は「大坪町六仙寺・柴藤清次さん」のあやまり。

なお、柴田満州男さんは、県体連続13回出場、40歳未満 100メートル競走に3年連続優勝し、山田・柴藤さんらとともに表彰をうけられました。

燃えないものは
ピンクの袋に
入れましょう



蚊やハエ退治はおまかせを

青年団が薬剤散布をひきうける

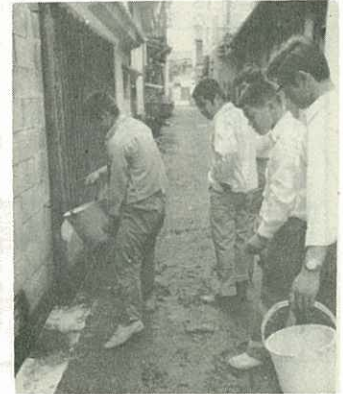
市連合青年団（野中団長・800人）は、6月4日午前10時から大坪小学校で青年大会を開き、蚊やハエのいない町づくりはぼくらの手で、と集った団員約100人が午後から6つの班に分かれ、あらかじめ市保健衛生課で用意したスミチオン乳剤を西肥バスセンター裏や常光寺横を流れる下水路など伊万里町の市街地を中心に第1回目の薬剤散布を行ないました。

この薬剤散布は、昨年まで夏休みで帰省する大学生などのアルバイトにたのんでいましたが、市内全域の薬剤散布を終わるには時期を失するため、ことしから青年団に協力をたのんだものです。

薬剤散布は7月中旬までに終わることにしていますが、2回目からの薬剤散布は、町団で分担し、団ごとに、市の動力散布機などを使ってそれぞれ自分たちの町の蚊やハエの発

生しやすい場所を重点的に実施しています。

また、この薬剤散布作業で得た資金は、計画している青年会館建設資金や青年団活動の運営資金にあてることにしています。



子どもを健全に育てることは、親の当然のつとめでもありますが、学校や社会の責務でもあります。

伊万里小学校や大坪小学校など伊万里地区内の4つの小学校と中学校それに警察・駐在所で組織している「校警補導連絡協議会」は、子どもたちの健全育成を目標に……▷小中学生の非行事例に基づいて、その原因や傾向などを知り、適切な指導を行なうこと▷長期休暇中の校外生活を健全なものにするための研究や指導▷学校・警察相互の連絡を密にして現場指導を行なうなど、9年前から地道な努力を続けています。

しかし、青少年の非行はいつにやまず、昨年1年間でも市内で56人の小中学生が罪をおかしました。

そのうち、小学生の犯罪は、前年の4倍以上を占め、非行の低年齢化が目立ってきています。

青少年の犯罪で最も多いのは盗みです。昨年は小学生28人・中学生22人あわせて50人がつかまり、ことしも、すでに32人の子どもが盗みをはたらきました。

こうした非行を事前につみとるためには、なんとといっても子どもたちの考え方や、日ごろ家庭・学校など

での行動をよく知り、適切な指導を与えることが必要と思います。そのため、ことしは次のような具体的運動を進めることにしています。

◎物や金銭の正しい使い方の指導

わたしたちは、はたして子どもの小使いの使い方をよく知っているだろうか。ふさわしい小使いを与えているだろうか。また、金さえ与えておけば……。欲しがるから……とば

防ぎたい青少年の非行

一校警補導連絡協議会伊万里支部一

くぜんと金を与えていないだろうかこうした親の無関心がいつのまにか非行へはしる原因をつくりだしているのです。また、現代の子どもたちは物をたいせつにしません。これも万事、金で解決するという考え方の弊害かもしれません。こうしたことをどう指導したらよいか検討しながら指導を進めます。各家庭でも十分認識して欲しいものです。

◎登下校時の安全指導強化

いまの交通事情では、いつ、どこで事故が起きるかわかりません。子どもたちをこの事故から守るために親や学校・市民も本気で対処すると

ともに、子ども自身が安全に心がけ実践するように指導する。

◎校外での健全な遊びの指導強化

近ごろの子どもたちの遊びは、種類も方法も以前とはかなり変わってきました。それに、いま市内の各所で大きな工事が行なわれており、危険と背中あわせに生活している状態です。こうした中で子どもたちが事故にあうことがないように、関係者の協力、指導によって楽しい余暇をすごさせてやりたいと思います。

◎関係諸機関の協力体制の強化

集団生活をとおして、子どもの学習や生活を教育する場は学校です。しかし、この集団生活にもなじめず家庭生活からも離れた子どもたちは街頭に出て非行を犯します。

昨年は、市内で120人もの子どもが警察の補導をうけました。

この子どもたちを健全な生活にもどすために、警察をはじめ、諸機関の協力体制を強化することになっています。

子を持つ親は当然のことながら市民の皆さんも他人事ではなく自分の子と思って青少年の非行を見かけたり、聞いたりしたときは、愛情をもってご指導いただきたいと思ひます

ご協力ください 農村地域労働力調査

佐賀県は、7月1日現在で「農村地域労働力調査」を実施することになっています。

この調査は、県や市町村が農業振興計画や農村地域への企業導入計画などに役立てるために実施するものです。

調査区は、県西部地区の伊万里市を中心として、3市7町1村を対象にし、45年に実施した農林業センサスで調査した農家の3分1世帯をえらび出して行ないます。伊万里市はおよそ2,000世帯が調査対象になっています。

調査は、県知事が委嘱した調査員による聞きとり調査で、農家の皆さんのいまの仕事の状態、こんごの農業経営に対する考え方、就職希望などをおたずねすることにしています

調査世帯に該当した場合はぜひご協力ください。なお、この調査でおたずねした個人的な秘密は固く守るとともに、税金などには絶対関係しませんのでありのままをお答えください。

- 〇五百円 匿名(伊万里警察経由)
- 〇飾り棚式台 伊万里市 駐在員連合会(老人福祉センターへ(寄付)) (累計二五万九二一五円)
- 教育振興奨励基金へ
- ▼香典返しを寄付
- 〇石井儀蔵(松浦町堤の川 亡妻チマ)
- 〇電動オルガン九台 ベスト電器取締役社長北田光男(伊万里進出を記念して) (昭47・6・20現在)
- ▼香典返しを寄付
- 〇森実(大川内町平尾 亡長男直次)
- 市立保育園へ
- 交通安全対策費へ
- ▼篤志寄付
- 〇式万円 川久保一雄(山代町久原二区 病氣全快のため)
- 〇五千円 川久保セイ(山代町西分 山代西小学校退職のため)

妊婦検診と相談

- 7月11日 9時30分~12時 波多津町小島医院
- 〃 13時30分~15時 東山代町内山医院
- 18日 13時30分~15時 南波多町小島医院 大川出張所(相談)

百日せき・ジフテリア 予防接種は中央公民館で

百日せき・ジフテリア混合の予防接種は、毎月第2・第3火曜日の13時30分から14時30分まで、中央公民館で実施しています。祭日に当たるときはその翌日です。

▷生後3か月から5か月までの乳児で、3~4週間かくで3回接種します。満3か月になったら必ず接種してください。

- 〇本岡恵一(二里町八谷揃 里 亡父多助)
- 〇松高九州男(南波多町古川原 亡妻マツヨ)
- 〇山口喜代治(南波多町大川原 亡妻マツヨ)
- 〇林田豊(東山代町長浜 亡母ソデ)
- 〇梅崎郁治(大川町駒鳴 亡父敬一)
- 〇岩崎鶴一(大川内町福野 亡母サヨ)



ありがとう
ごさりました

- 〇古賀忠(伊万里町本町三四丁目 亡二男俊次)
- 〇永島利男(山代町鳴石 亡母セツ)
- 〇梅崎初枝(大川内町正方坊 亡夫竹一)
- 〇世戸常德(伊万里町今町 亡母ミキ香典返しとして老人福祉センターにカラータレビ台を寄付)
- ▼篤志寄付
- 〇五百円 岩崎ミヨ子(木須町木須西)
- ▼香典返しを寄付
- 〇永島利男(山代町鳴石 亡母セツ)
- ▼篤志寄付
- 〇式万円 川久保一雄(山代町久原二区 病氣全快のため)
- 〇五千円 川久保セイ(山代町西分 山代西小学校退職のため)
- 〇松尾千万(松浦町桃の川 亡夫定)
- 〇前川輝義(大川内町市村 亡祖父七之助)
- 〇高田為造(波多津町井野 尾 亡父金治郎)
- 〇田中俊輔(伊万里蓮池町 亡養父藤一)
- (累計九二一三六八〇円)
- 山代公民館建設資金へ

▷生後5か月までに3回接種が終わった乳児は、1年~1年半経過後もう1回接種を受けてください。

▷熱があるときは接種できないこともあります。

※母子健康手帳をお忘れなく。

サービス電話の利用を

伊万里電報電話局は、利用者のためにサービス電話を設け、じょうずな電話のかけかたや市役所からのお知らせとして健康相談日・交通事故相談日などいつでも聞けるようにしてあります。電話番号は7171番です。料金はかかりません。ほかに○故障113番 ○時刻117番 ○天気予報177番があります。ただし、時刻と天気予報は有料です。

所得税の第1期分 納期は7月31日まで

次のかたからご寄付をいただきます。厚くお礼申し上げます。(敬称略)

社会福祉事業費へ

▼香典返しを寄付

- 〇稗田逸郎(南波多町重橋 亡父重寅)
- 〇田島弘(大川町立川 父源六)

- 〇岩崎鶴一(大川内町福野 亡母サヨ)
- 〇梅崎郁治(大川町駒鳴 亡父敬一)
- 〇林田豊(東山代町長浜 亡母ソデ)
- 〇山口喜代治(南波多町大川原 亡妻マツヨ)
- 〇松高九州男(南波多町古川原 亡妻マツヨ)
- 〇本岡恵一(二里町八谷揃 里 亡父多助)

ことものページ

夏休みを元気にすごそう

毎日の生活は規則正しく

待ちに待った夏休みが、すぐそこまでやってきました。

しかし、たのしいはずの夏休みも交通事故にあったり、病気にでもなったらつまりません。

学校できめられたことを守るのはどうなのですが、こん月は、みんなが休みのあいだ守ってほしいことをおつたえしましょう。

◆からだの悪いところは、ハヤメになおそう

夏休みにはいる前には、学校で目やみ・はななどのけんさがあるところでは休みちゅうになおすように知らせがあります。病気ははやく手当てをしないとのおりにくいものです。休みにはいたら、すぐ医者にみせてはやくなおしましょう。

◆夏まけしない、じょうぶなからだをつくらう

7月のなかばをすぎると、暑さきびしくなり、からだのだるくなったり、食欲がなくなって、毎日お茶づけや、ひやむぎなどですましてしまいがちです。しかし、これでは暑い夏をのりこえることはできません。暑いときこそじょうぶな栄養をつけましょう。

昔から、暑いときはうなぎをたべると夏まけしない、といわれています。ですから、油っこいものや、牛乳・バター・チーズなどをうんとたべて、元気にすごしたいものです。

◆そとではぼうしを、ねびえにも気をつけよう

かんかんでりの日のしたで、ぼうしもかぶらずにあそんでいる子をよく見かけます。長いあいだ強い日ざしにあたると、日射病にかかってたおれたり、げりをしたりします。そとであそぶときは、必ずぼうしをかぶりましょう。

また、むし暑い夜は、よくはだかでやすみがちです。しかし、朝がたになると、気温がさがり、それにねむっているあいだには、おなかのていこう力がよくなり、ちょっとひえただけでも、おなかをひやしてはらいたや、げりをおこします。おなかをひやさないように、腹巻きをしてやすみましょう。

◆わるいあそび・きけんなあそびはやめよう

長い休みのあいだには、気のゆるみから、わるいあそびをおぼえたりきけんなあそびをしなともかぎりません。たとえ、友だちからさそわれても、ことわる勇氣をもちましょう。また、さいきん、仮面ライダーなど、テレビまんがのまねをして大げをしたり、しんだ人もいます。テレビまんがのように、あんなにうまくはだれでもできません。きけんなあそびはけっしてしないとやくそくしましょう。

夏の夜、パチパチ音をたてとびちる花火は、とてもきれいなものです。しかし、たくさんの花火に、い

っぺんに火をつけたり、打ち上げ花火などは、やけどをしたり、火事をおこすこともあります。花火あそびは、できるだけ親といっしょか、安全なところでたのしみましょう。

◆交通事故や水の事故にも気をつけよう

あそびにむちゅうになって、道路にとび出したり、あそびつかれて帰るとちゅうに、よく事故にあうものです。車の通るところでは十分車に気をつけましょう。また、佐賀県内で、きょう年1年間に水の事故でなくなった子どもが57人もいました。ひとりでは、けっして池や海などであそばないことです。また、家を出るときは、行きさきをはっきりつたえてからでかけましょう。

◆規則正しい生活をしよう

長い夏休みのあいだには、なまけくせがついて、毎日の生活がみだれがちです。休み中のけいかく表をつくり、それを必ず守りましょう。2学期がちかくなって、宿題などにおわれることがないように、毎日ちゃんとかたづけておきたいもの。またすいみんもじゅうぶんとり、元気で夏休みをたのしんでください。

すいみん時間を

じゅうぶんに

